

進路ガイダンス報告

1月24日(日)午後1時より鶴見緑地花博記念ホールにてシニア自然大学校の講座生を対象とした進路ガイダンスが開催され、当会からは同大学OBの藤田会長、事務局辻本、小島、青木、宮崎の5名が入会勧誘のため参加しました。

当日は、記録的な寒波の襲来も予想され講座生の方々の出足が心配されましたが、穏やかな天候となり、ホール内は講座生の方で埋まりました。

午前11時過ぎ、当会ブースの飾りつけ開始。当会の活動内容を分かり易く伝える為、昨年同様「ならやま」での活動並びに小学生児童を対象とした各種イベントを中心に自然観察会、歴文研修会、蕎麦クラブの活動等、当



会の活動を写真で幅広く紹介しました。

午後1時から始まった40分のオリエンテーション終了後、講座生の皆様は一斉に、壁際に設営された各種団体のブースを訪問。それぞれ自身意中の団体ブースを訪問され、会場は一気に熱気に包まれました。開始からの30分が勝負。私達のブースにも沢山の人が来られました。



そんな中、突然背後から「先日は大変お世話になりました。」の声。振り向けば実習体験で活動に参加された講座生の方の懐かしい顔、顔、顔…。

勿論来場者名簿にもお名前をご記帳いただきました。今春4月には沢山の方が新メンバーとして参加される事を期待して、無事今回の使命を終えました。ご協力いただいた幹事の皆様お疲れ様。有難うございました。(辻本 信一)



大澤教男さん

森林インストラクター資格試験
合格おめでとうございます!!
(27年度)

森林インストラクター資格試験は、年に1回実施され9月一次筆記試験、11月2次実地試験(東京)翌年1月合格発表のスケジュールで実施されています。合格率は20%程度で推移していて、行政の関係者や森林関係の諸団体の職員等が受験することが多い資格試験です。大澤さんは見事難関を突破されての合格です。お目出とうございます。

既に現場作業をマスターされ、青少年のご指導もお得意です。日頃最前線で活動しておられる多忙さにもかかわらず、研鑽され資格を取得されました。資格取得者の役割は「森林を利用する一般の人々に対して、森林や林業に関する知識を与え、森林の案内や森林内での野外活動の指導を行うもの」とされています。大澤さんのこれからのますますの活動が目に見えます。

国土の67%が森林である日本は、山国と言えるでしょう。気象条件、地理的条件が満たされていて裸地となっても復元する力がある恵まれた自然環境があります。森林の持つ計り知れない多様な働きが多くの人々に理解されていません。また林業に対する関心は低く、輸入材に頼る状態が長く続いています。里山が放置され、膨大な人工林が手入れ不足で荒廃しているのが現状です。そのような中で2020年開催オリンピックのスタジアム設計図は、奇しくも応募2団体とも材木を取り入れ周辺に緑を配したものでした。今の社会全体があまりにも自然から遠ざかり、自然の恩恵を粗略に扱ってきたことへの良き反動であれ、と願うものです。地球エネルギーの根源を作る森林に、多くの方が目を向けて下さる事を願い、自然の不思議への驚きと感動に人々が接して欲しいと願います。(阿部 和生)